



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月4日

上場会社名 第一実業株式会社 上場取引所 東
コード番号 8059 URL <https://www.djk.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 宇野 一郎
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 田端 裕也 (TEL) 03-6370-8697
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	160,776	36.9	9,959	120.6	10,223	114.6	7,256	69.2
2024年3月期第3四半期	117,445	11.0	4,514	1.8	4,764	△3.9	4,289	△10.3

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 7,088百万円(0.1%) 2024年3月期第3四半期 7,081百万円(13.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	228.72	227.98
2024年3月期第3四半期	135.31	134.84

※2023年10月1日付で普通株式1株につき普通株式3株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	196,902	77,962	39.5
2024年3月期	193,795	73,441	37.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 77,799百万円 2024年3月期 73,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	78.00	—	45.00	—
2025年3月期	—	41.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	36.00	77.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※2023年10月1日付で普通株式1株につき普通株式3株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の第2四半期末は分割前、2024年3月期の期末は分割後の金額を記載しております。年間配当金については株式分割の実施により単純合計出来ないため表示しておりません。

※2024年3月期の第2四半期末配当金には創立75周年の記念配当15円00銭を含んでおります。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	200,000	6.5	10,000	10.0	10,300	14.4	7,300	△2.2	230.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1社(社名) 株式会社DJ-WAVEエンジニアリング

除外 1社(社名) 株式会社ウエイブエンジニアリング

(注) 詳細は、添付資料8ページ「(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	33,259,200株	2024年3月期	33,259,200株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年3月期3Q	1,525,244株	2024年3月期	1,541,829株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	31,727,324株	2024年3月期3Q	31,703,192株
------------	-------------	------------	-------------

※2023年10月1日付で普通株式1株につき普通株式3株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、世界的な半導体需要の回復や、引き続き堅調なインバウンド需要、価格転嫁の進展が下支えとなり、緩やかな回復基調となりました。しかしながら、地政学リスクの増大、米国における対外経済政策への不確実性の高まり、物価上昇による個人消費への影響、人手不足の深刻化が懸念されるなど、不安定な情勢を背景に依然として先行き不透明な状況となっております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、海外向けのリチウムイオン電池製造設備等の大口案件の売上計上があったほか、国内外向けの各種プラント用設備の売上が大幅に増加したため、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前第3四半期連結累計期間に比べて433億31百万円増加の1,607億76百万円（前年同期比36.9%増）となりました。また、営業利益は54億45百万円増加の99億59百万円（前年同期比120.6%増）、経常利益は54億59百万円増加の102億23百万円（前年同期比114.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は29億67百万円増加の72億56百万円（前年同期比69.2%増）となりました。

報告セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

プラント・エネルギー事業

国内外向けの各種プラント用設備の売上が大幅に増加したため、売上高は43億49百万円増加の153億96百万円（前年同期比39.4%増）となり、セグメント損益（営業損益）は12億43百万円増加の11億95百万円となりました。

エナジーソリューションズ事業

海外向けのリチウムイオン電池製造設備等の大口案件の売上計上があったため、売上高は240億61百万円増加の410億69百万円（前年同期比141.5%増）となり、セグメント利益（営業利益）は21億2百万円増加の25億3百万円（前年同期比524.7%増）となりました。

産業機械事業

プラスチック製品・食品関連業界向けの成形機、塗装関連設備及び周辺機器、医療関連器具製造装置等の売上が増加したため、売上高は28億13百万円増加の208億66百万円（前年同期比15.6%増）となり、セグメント利益（営業利益）は1億24百万円増加の7億4百万円（前年同期比21.5%増）となりました。

エレクトロニクス事業

I T及びデジタル関連機器製造会社向けの電子部品製造関連設備等の販売が増加したため、売上高は29億87百万円増加の382億62百万円（前年同期比8.5%増）となり、セグメント利益（営業利益）は1億94百万円増加の20億62百万円（前年同期比10.4%増）となりました。

自動車事業

自動車関連業界向けの自動組立ライン、塗装ライン、車載電子部品製造関連設備等の売上が増加したため、売上高は50億46百万円増加の293億3百万円（前年同期比20.8%増）となり、セグメント利益（営業利益）は2億30百万円増加の13億33百万円（前年同期比20.9%増）となりました。

ヘルスケア事業

医療関連機器製造装置、錠剤印刷検査装置やパッケージング用機器・装置等の売上が大幅に増加したため、売上高は32億13百万円増加の108億71百万円（前年同期比42.0%増）となり、セグメント利益（営業利益）は6億42百万円増加の10億13百万円（前年同期比173.5%増）となりました。

航空・インフラ事業

エアライン向けの航空機地上支援機材及び空港施設関連機器等の売上が増加したため、売上高は10億25百万円増加の49億40百万円（前年同期比26.2%増）となり、セグメント利益（営業利益）は2億49百万円増加の4億8百万円（前年同期比156.5%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、31億7百万円増加の1,969億2百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産の減少があったものの、電子記録債権や商品及び製品などの流動資産の増加があったことによるものであります。

負債合計は、14億13百万円減少の1,189億40百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加があったものの、短期借入金の減少があったことによるものであります。

純資産合計は、45億20百万円増加の779億62百万円となりました。これは主に、配当金の支払いがあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益72億56百万円の計上や為替換算調整勘定の増加があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当初計画を上回る見込みですが、現在精査中であるため現時点では2024年5月9日に公表した2025年3月期の連結業績予想を変更していません。

今後、業績予想数値が確定次第、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,029	35,440
受取手形、売掛金及び契約資産	53,932	34,273
電子記録債権	7,770	14,112
商品及び製品	20,676	26,430
仕掛品	1,630	2,778
原材料及び貯蔵品	979	939
前渡金	49,879	50,296
その他	4,819	11,141
貸倒引当金	△128	△101
流動資産合計	171,589	175,311
固定資産		
有形固定資産	3,540	3,447
無形固定資産	2,183	2,097
投資その他の資産		
投資有価証券	13,100	12,729
退職給付に係る資産	1,535	1,548
繰延税金資産	775	636
その他	1,223	1,284
貸倒引当金	△153	△153
投資その他の資産合計	16,482	16,046
固定資産合計	22,206	21,591
資産合計	193,795	196,902
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,380	43,549
短期借入金	6,790	2,220
未払法人税等	1,976	1,007
前受金	60,268	56,530
引当金	2,348	1,618
その他	6,130	10,498
流動負債合計	116,894	115,423
固定負債		
長期借入金	120	30
繰延税金負債	2,179	2,128
引当金	32	30
退職給付に係る負債	554	574
その他	572	753
固定負債合計	3,459	3,516
負債合計	120,354	118,940

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,105	5,105
資本剰余金	3,842	3,865
利益剰余金	56,753	61,403
自己株式	△1,508	△1,492
株主資本合計	64,191	68,880
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,563	4,066
繰延ヘッジ損益	876	624
為替換算調整勘定	3,266	3,827
退職給付に係る調整累計額	420	400
その他の包括利益累計額合計	9,126	8,918
新株予約権	78	78
非支配株主持分	44	83
純資産合計	73,441	77,962
負債純資産合計	193,795	196,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	117,445	160,776
売上原価	96,631	133,183
売上総利益	20,814	27,593
販売費及び一般管理費	16,300	17,634
営業利益	4,514	9,959
営業外収益		
受取利息	118	97
受取配当金	426	596
仕入割引	144	112
持分法による投資利益	40	—
その他	341	169
営業外収益合計	1,070	975
営業外費用		
支払利息	50	32
持分法による投資損失	—	12
支払手数料	79	84
為替差損	613	531
コミットメントフィー	24	6
その他	52	43
営業外費用合計	820	711
経常利益	4,764	10,223
特別利益		
投資有価証券売却益	1,150	186
事業譲渡益	130	—
受取保険金	996	—
特別利益合計	2,277	186
特別損失		
投資有価証券売却損	1	—
投資有価証券評価損	—	0
災害による損失	683	—
その他	3	—
特別損失合計	688	0
税金等調整前四半期純利益	6,353	10,410
法人税、住民税及び事業税	1,976	2,675
法人税等調整額	114	446
法人税等合計	2,090	3,121
四半期純利益	4,262	7,288
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△27	32
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,289	7,256

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	4,262	7,288
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	634	△496
繰延ヘッジ損益	790	△252
為替換算調整勘定	1,409	568
退職給付に係る調整額	△14	△20
その他の包括利益合計	2,818	△200
四半期包括利益	7,081	7,088
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,104	7,049
非支配株主に係る四半期包括利益	△23	39

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

当社は、2024年7月1日付で当社の非連結子会社であった第一エンジニアリング株式会社を継続会社とし、当社の連結子会社であった株式会社ウエイブエンジニアリング及び当社の非連結子会社であった株式会社フロー・ダイナミックスを消滅会社とする吸収合併を行い、同日付で第一エンジニアリング株式会社は株式会社DJ-WAVEエンジニアリングへ商号変更しております。この組織再編により株式会社DJ-WAVEエンジニアリングは重要性が増したため、中間連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							
	プラント・エネルギー事業	エナジーソリューションズ事業	産業機械事業	エレクトロニクス事業	自動車事業	ヘルスケア事業	航空・インフラ事業	計
売上高								
外部顧客への売上高	11,047	17,007	18,052	35,274	24,257	7,658	3,914	117,213
セグメント間の内部売上高又は振替高	59	7	457	404	387	—	—	1,318
計	11,107	17,015	18,510	35,679	24,645	7,658	3,914	118,531
セグメント利益又は損失(△)	△47	400	579	1,868	1,103	370	159	4,433

	その他(注1)	合計	調整額(注2)	四半期連結損益計算書計上額(注3)
売上高				
外部顧客への売上高	232	117,445	—	117,445
セグメント間の内部売上高又は振替高	20	1,338	△1,338	—
計	253	118,784	△1,338	117,445
セグメント利益又は損失(△)	21	4,455	58	4,514

注1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械・器具の賃貸を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額58百万円には、セグメント間取引消去133百万円、棚卸資産の調整額△73百万円及びその他の調整額△1百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							計
	プラント・エネルギー事業	エナジーソリューションズ事業	産業機械事業	エレクトロニクス事業	自動車事業	ヘルスケア事業	航空・インフラ事業	
売上高								
外部顧客への売上高	15,396	41,069	20,866	38,262	29,303	10,871	4,940	160,711
セグメント間の内部売上高又は振替高	208	27	676	201	131	1	—	1,246
計	15,604	41,096	21,543	38,464	29,435	10,873	4,940	161,958
セグメント利益又は損失(△)	1,195	2,503	704	2,062	1,333	1,013	408	9,220

	その他(注1)	合計	調整額(注2)	四半期連結損益計算書計上額(注3)
売上高				
外部顧客への売上高	65	160,776	—	160,776
セグメント間の内部売上高又は振替高	12	1,259	△1,259	—
計	78	162,036	△1,259	160,776
セグメント利益又は損失(△)	△18	9,201	757	9,959

注1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械・器具の賃貸を含んでおりません。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額757百万円には、セグメント間取引消去652百万円、棚卸資産の調整額184百万円及びその他の調整額△79百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	844百万円	855百万円
のれんの償却額	28百万円	84百万円